

わんにゃん通信

2014年
6月号

つい最近までぽかぽかして心地よい気温でしたが、もう暑くなり始めました。暑くなってくるとわんちゃん・猫ちゃんの皮膚病も出やすくなりますよね。

うちの犬も毎年かゆみや湿疹が出るので、今年はこまめにシャンプーをして、ひどくならないように気をつけようと思います。

今月は皮膚病と同じく夏場にひどくなることの多い、外耳炎・中耳炎についてのお話です。

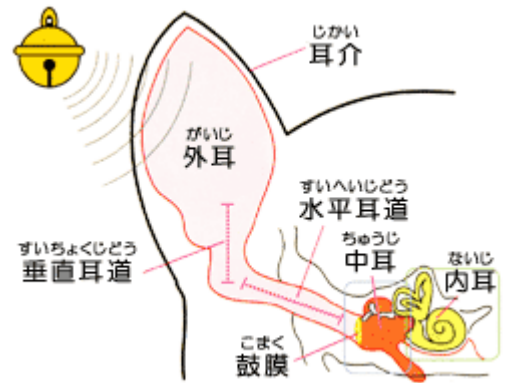


外耳炎・中耳炎について

外耳炎…耳穴から鼓膜の手前までの炎症

中耳炎…鼓膜より奥に炎症が起きる

外耳炎がひどくなって起こることも



原因

耳垢に細菌がついて、繁殖して炎症を起こすことがほとんど。

※耳が垂れている犬種、耳道に毛の多い犬種は通気性が悪いため、細菌の繁殖が起こりやすい。

症状

・耳をかゆがる



・後肢で耳の付け根をかく
・壁、床に耳をこすりつける
・頭、耳を振る
などの行動が見られます。

- ・耳の穴から独特の臭いがする
- ・黄褐色の耳垢がみられる
- ・ひどくなると痛みをともなうので触るのを嫌がる
- ・耳が聞こえづらくなる(中耳炎がひどくなると化膿して鼓膜を破ってしまうことがあるため)



※完治するまで中断せずに通院することが大事です



治療

- ・耳の中を掃除する
- ・耳垢、臭いがある場合は抗生物質による治療
- ・中耳炎の場合、薬液で洗浄することもある

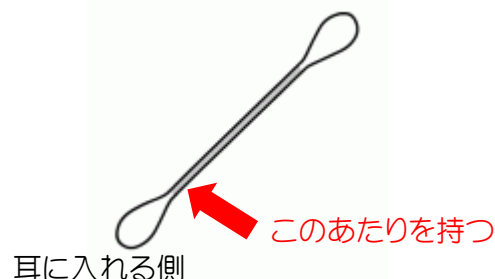
予防

- ・定期的な耳掃除

◎家で耳の穴の奥まで掃除するのは危ないので、綿棒を使う場合は先の方を持って、届く範囲で汚れを取る
◎耳介(耳たぶ)はガーゼなどできれいに拭く

※耳の穴が綺麗であれば、掃除をする必要はありません。あまり頻繁に掃除すると逆効果になることもあります。

- ・耳道に毛が多く生えている場合はピンセットなどで抜く
- ・シャンプーの時など、耳の中に水が入らないように注意する



症状が悪化すると、痛いので耳を触らせなくなり、治療が大変になります。

そうならないよう定期的に耳を見て、耳垢がたくさんついていないか、臭いはないか、耳の中が赤くないかなど、チェックする習慣をつけましょう。

耳を触られることに慣れておけば、治療が必要になった時も家での投薬がスムーズになりますね♪



フィラリア予防の時期になりました

フィラリアの検査は6月中に済ませましょう。

早めに検査をしたわんちゃんは、忘れずに投薬を始めましょう。

狂犬病予防注射やフィラリア検査の時期のため、来院数が増え待ち時間が長くなることがあります。時間に余裕をもってご来院ください。

また、診察の都合上、順番が前後することもありますのでご了承ください。



担当:池田